

**包括連携協定に基づき医療関係者、介護従事者への支援
埼玉県行田市にコカ・コーラ社製品を無償提供**

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：カリン・ドラガン、以下当社）と埼玉県行田市（市長：石井 直彦）は、本年3月に東京2020オリンピック・パラリンピックの機運醸成や行田市内の地域活性化、多岐にわたる分野での連携を目的とした、「包括連携協定」を締結いたしました。6月19日（金）、新型コロナウイルス感染症の影響により延期となっていた締結式を実施いたしましたのでご報告いたします。

早速、本協定に基づき当社は、新型コロナウイルス感染症対策への支援として行田市にコカ・コーラ社製品 3,400本を無償提供し、6月19日、製品の寄贈式を執り行いました。提供した当該製品は行田市、行田市医師会を通じて、新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて活躍する市内の医療機関、介護施設へ配布されました。

当社は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により刻々と変化する社会情勢に対応すべく、全てのステークホルダーの健康を第一に、これまでと変わらず「地域密着」の企業理念のもと、さまざまな地域活性化に取り組んでおります。

【行田市・行田市医師会を通じて市内の医療機関・介護施設へ無償提供するコカ・コーラ社製品】

提供日：6月19日（金）

提供先：埼玉県行田市

寄贈品：「コカ・コーラ」スリムボトル 埼玉デザイン	1,500 本	
「リアルゴールド ドラゴンブースト」	1,500 本	
「いろ・は・す」	400 本	合計 3,400 本



コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社 関東営業本部埼玉/千葉統括部長 市川 朋弘（左）、
行田市長 石井 直彦様（右）

<参考資料>

- 当社ホームページ内へ、新型コロナウイルス感染拡大防止や、お得意さま、地域をサポートするための特設ページを開設しています

<https://www.ccbji.co.jp/>

■ 会社概要：コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社

コカ・コーラ ボトラーズジャパンは、日本の各地域にあった12のボトラー社が統合を経て2017年4月に誕生しました。全世界にはコカ・コーラ社製品を製造・販売している「コカ・コーラボトラー」が約250社あり、その数多くのボトラー社のなかで、当社は売上高においてアジア最大、世界でも有数の規模を誇ります※。事業エリアは、東京、大阪をはじめとする1都2府35県とし、あらゆるシーンで、みなさまのニーズにお応えする「総合飲料企業」として安全・安心な製品を日々お届けしています。（※2019年12月現在）

当社は2019年8月に2024年までの中期計画を発表し、同時に策定した新しい企業理念「ミッション・ビジョン・バリュー」のもと、これまでのビジネスで培ってきた誠実さと信頼に基づいた行動を通して、お得意さま、株主さま、地域社会、社員をはじめ、すべてのお客さまから選ばれるパートナーであり続けるとともに、お客さまへの価値を創造し、業界全体の成長をリードしてまいります。また、「SDGs（持続可能な開発目標）」の実現に向け、当社が設定した非財務目標「CSV Goals」では、コカ・コーラシステムがグローバルで掲げている昨今のプラスチック問題へのアクション「容器の2030年ビジョン」をはじめ、事業活動を通じた価値の創造へ向けて、具体的なアクションを実行してまいります。

詳細は、コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社のWEBサイトをご参照ください。

<https://www.ccbji.co.jp>